

○奥田北地区タウンミーティング議事録（概要）

日 時 令和5年8月5日（土）

午前10時から午前11時まで

場 所 奥田北公民館

出席者 48人

テーマ1 富山市の安全で安心なまちづくりについて（防災危機管理部）

<主な説明事項>

- 1 富山県・富山市の刑法犯認知件数
- 2 富山市内の主要街頭犯罪発生状況
- 3 富山市安全で安心なまちづくり推進条例
- 4 富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画
- 5 防犯カメラの設置について

【防災危機管理部の説明に対する質問】

- ・ 資料の「富山市安全で安心なまちづくり推進条例」の中の、「土地所有者等の役割」というところに、「所有、占有及び管理する土地、建物等において市民の安全の確保及び犯罪の防止のための必要な措置を講ずるよう努める」と書いてありますが、具体的にどこかに書いてあるのでしょうか。このようなことに努めてくださいといった、その内容があれば教えてください。

（生活安全交通課長）

この「土地所有者等の役割」について、書き方は難しいところではありますが、具体的な内容としては、ご自身の土地・建物をしっかり管理し、犯罪の温床にならないようにしていただくということです。簡単に申し上げますと、例えば、植え込みが非常に生い茂っていて犯罪者が隠れていたり、所有している空き地の草刈りをしておらず人が忍び込めるようになっていたり、ゴミのようなものが玄関

先に置かれて非常に風紀が乱れるなど、犯罪のきっかけになりそうなことを避けていただくために必要な措置という内容です。

- そうすると、そのような場所が見受けられた場合は、市に通報すれば何か指導等をしていただけたらと考えてよろしいでしょうか。

(生活安全交通課長)

ご質問につきましては土地の所有者等の役割ですので、直接の指導はなかなか難しいと思っております。これは努力義務ということで、土地や建物の管理者にお願いしているところです。

テーマ2 社会インフラマネジメントについて (建設部)

<主な説明事項>

- 1 社会インフラの現状と課題
- 2 社会インフラの今後の対応

【建設部の説明に対する質問】

- 今年5月、G7 (富山・金沢教育大臣会合) があり、外国の方が富山市に来られました。富山市役所本庁の目の前の道路に木が植えてあり、多分、担当は県だと思います。G7の際、市役所の前の植木がどうして綺麗になっていないのかなと、少し残念に思いました。ですから、市役所から県へ (伝えていただくなど)、そのような国際的なイベントがあるときだけでも、植木や道路が綺麗であれば良かったなど (感じましたので)、参考になればと思います。

(建設部長)

市役所の前は県庁線という道路で、県ではなく、富山市の建設部が管理している道路になります。G7があることも事前にわかっておりましたし、限りある予算で、こちらとしては (中央分離帯にある) ケヤキや、両サイドにある街路樹の剪定はできる限り行ったつもりでしたが、市民の皆さんからするとまだまだ不十分だったというご意見として受け止めております。それからハンギングバスケット

トについても、富山駅前から富山城址公園の前まで、その他もきちんと整備したつもりでして、富山市にお越しになられた皆さんに、良い景観だな、楽しいまちだなと認識していただくため最大限の努力をしたつもりです。ただ今、ご指摘があったことについては真摯に受け止め、今後できることは対応させていただきたいと思います。

- ・ 社会インフラに関しての説明の中に、人材不足(であるとの話がありました)。
特に、今、社会現象になっている少子化という問題があります。富山市においても、非常に出生率が少なく、大変な状況だと不安を持っています。(富山市は)基本的に少子化対策をどうなさるのか。その次に、学校制度を見直して、しっかりした教育のもとに、こどもたちを安全に(育てる)投資というものをどうなさっていくのか。そして、若者が富山県に職を求め、住みよい富山市を作っていくための基本的な施策をお願いしたいと思います。

(市長)

大変大きな問題でありまして、少子化と高齢化が問題だと言われていますが、特に少子化の問題などは、今おっしゃったとおりです。これは役所だけではなく、企業や経済産業活動、地域のコミュニティの維持などを含めて、将来的に今のような状態で繋いでいくには、やはりお子さんも増えていただかないとどうしようもないということだと思います。そのために、富山県も富山市も、様々な面で少子化対策を行ってきております。例えば、保育園に待機児童を出さない施策や保育環境の充実、病院の充実、病児・病後児保育の充実、お子さんが生まれる前の妊娠期から出産、そして子育て期に至るまでの母親や、若いお母さんお父さんへの支援など、相当に手厚く、県と市も連絡を取りながら実施しております。ここから少し持論も入りますが、このような部分は、例えば富山市と高岡市、立山町、滑川市とこどもを奪い合ってもどうしようもなく、日本全体として増やす必要があると考えております。例えば給食費の話やこどもの医療費の話、こどもを産み育てやすい環境、学費の問題、お子さんが出来にくい環境、晩婚化というのも(問

題の)一つにあると思いますが、多くの問題がある中で、地方自治体はなけなしの予算で運営しているところに、さらに雀の涙ほどの予算を確保しながら取り組むことも非常に大事な努力ですが、基本的なところはやはり国がしっかりとベースを作り、子育て大国日本となるように(対策を取っていく必要があると考えます)。こども家庭庁も出来ましたし、我々も県と協力して異次元の環境整備を要望しているところですので、その上で富山市ができることは、教育環境(の充実や)お父さんお母さんの支援も含めて、従来以上にしっかりと取り組むとともに、情報を発信してまいりたいと思っております。

若者が働きたい職場があるのは、富山県全体の傾向からすると、東京首都圏です。大学で(県外へ)出ていくということは多くありますが、やはりUターンしていただきたい、あるいは富山大学に県外から来ている学生さんにはできれば富山県内に就職していただきたいという思いもあります。特に女性から、働きたい職場がなかなか富山県にないという声もお聞きしますので、こちらも県や市町村と協力していききたいと思っております。いずれにしても急激に減っていく少子化を緩やかにしていくことは非常に大事だと思いますので、今後しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

- ・ 今、色々とインフラの問題がありますが、例えば、下新北町の町内が出来て50年が経ちます。そうすると、道路や水道のほかにも、例えば電柱は市の管轄ではないかと思いますが、老朽化がかなり進んでいます。電柱の老朽化について、市として、電力会社と話はされているのでしょうか。

(建設部長)

電柱については、恐らく北陸電力さんの所有物です。一般論ですが、道路の再整備や拡幅には、電柱の移設や再構築が必要になってきます。その時は当然、北陸電力さんと相談して、必要ならば新しい電柱をつけていただく協議を行うことになると思います。それから一般的な話で、当地区とは少しかけ離れているかもしれませんが、中心部については、電柱そのものを無くす、いわゆる電線を地下

に埋めるという工事も実は進めております。当町内において、今おっしゃられたように老朽化が進んでいるというご事情については、道路管理を私どもで行っておりますので、北陸電力さんにお伝えしたいと思っております。

【その他意見交換】

- 本日のテーマ別説明とは若干外れてしまいますが、浸水対策というキーワードが出たので(お尋ねします)。当地区の東の境に、がめ川という河川があります。近年、集中豪雨に伴ってその水位上昇にとっても著しいものがあり、昨年8月の集中豪雨の際には、右岸左岸ともに溢水し、道路冠水並びに宅地への浸水等もありました。そのことを受けてかもしれませんが、本年度に入り、右岸側の豊田町側の方で、高さ40cmほど築堤されました。それは恐らく右岸左岸の高さの均衡を図るためと考えておりますが、それ以上に近年の水位上昇は著しいものがあり、沿線の住民の方が非常に心配されています。そういったことをお聞きし、本日この場で伝えていただけませんかという声がありました。浸水対策については自治会を通じてお願いしているところではありますが、今後ともまた切によろしくお願ひ申し上げます。

(建設部長)

がめ川については、今お話しされたとおり、昨年の浸水被害を受け調査した結果、やはり左右の護岸の高さが、今言われたように右岸側が低かったので、少しかさ上げして、少なくとも川の水が偏って流れ込まないような対策を実施しているところですが、ただご存知のように、最近の雨の降り方がこれまでと大きく違っており、雨の量そのものも多いのですが、急に短時間で激しく降る、いわゆるゲリラ豪雨が頻発しております。このゲリラ豪雨についても、なかなか予想がつかないような状況で、市内のどこで発生するかわからないということもあります。しかし、そのようなことも言っていられないので、例えば、その浸水対策について今考えていることは、水門の操作をもう少し迅速にできないかとか、それから既存の排水路にバイパスを作り、少し違うところに持っていけないかとか、さら

には、長期的な対策になりますが、例えば公園や、学校の皆さんにご理解いただく必要がありますが学校のグラウンドに水を溜めるとか、時間差をかけて水を外に出す貯留対策というのも、比較的効果があるのではないかと考えております。これについては地域の皆さんももちろんですが、学校の方々との合意形成も必要です。大きな豪雨はこれからも間違いなく発生しますし、若干時間がかかると思いますが何らかの対策が必要だと認識しており、色々のご協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

- ・ 私の町内のすぐ脇に大島川という川が流れていますが、この前の大雨でも溢水するかどうかというところで、私の町内が大島川の土手より低いために側溝が溢れ、町内の一部がもう既に冠水すると（いうことがありました）。約40mmの雨が降ると、そのような地区が必ず出ます。そのために今、雨水幹線を作っていたのですが、余りにも（工期が）長すぎます。今年も工事がありましたが、あと残り50mで止まっています。この50mが繋がると、恐らく大島川の水位が大分下がると思います。それを期待しながら6年経ちましたがまだ完成していません。ぜひ完成（に向けて工事）を進めていただきたいと思いますと考えております。

（建設部長）

雨水幹線については上下水道局で整備していますが、下新西町上赤江線の整備に併せて行っております。お話しされたとおり、道路工事そのものがもう少し時間がかかるので、全体の雨水幹線の整備が完了するのは時間がかかると思いますが、取水できるところから恐らく順番に繋ぎ込みが行われると思います。もう少しお時間をいただくかもしれませんが、適切な対策を行っていきたいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願ひいたします。

※ 発言の一部を整理して掲載しています(広報課)